

会告

■先端芸術音楽創作学会運営体制

運営委員

事務局

会長：小坂直敏 (東京電機大)

副会長：古川聖 (東京芸大)

広報 (研究会)：寺澤洋子 (筑波大)

広報 (イベント)：有馬純寿 (帝塚山学院大), 柴山拓郎 (東京電機大)

広報 (Web)：喜多敏博 (熊本大)

会計：森威功 (東京芸大)

会報：安藤大地 (首都大)

一般

石井紘美 (英国シティ大), 今井慎太郎 (国立音大),

今堀拓也, 川崎弘二,

中村滋延 (九州大), 西野裕樹 (シンガポール国立大),

沼野雄司 (桐朋学園大), 水野みか子 (名古屋市立大),

Cathy Cox (玉川大),

Michael Chinen

在外国メンバー

Mara Helmuth (University of Cincinnati, U.S.A.),

Karen Wissel (Growth in Motion, Inc., U.S.A.),

Mark Battier (Sorbonne, France)

■電子ジャーナルへの投稿を歓迎します

原稿は原稿執筆要領に沿って書いていただき、編集委員まで送付して下さい。また、詳細については編集委員までお問い合わせ下さい。

編集委員：安藤大地 [dandou\[at\]sd.tmu.ac.jp](mailto:dandou[at]sd.tmu.ac.jp)

原稿は以下のカテゴリに分類されます。

- 原著論文 研究論文。査読を経て採録されたものが掲載されます。
- 研究報告 研究の予稿。査読はなし。通常の学会の研究会の予稿に相当。
- 会議報告 国際会議等の参加報告。
- 解説 既に知られている重要な技術、概念、研究動向を読者にわかりやすく伝える記事。
- 連載 何回か継続して綴られる原稿。解説や報告などさまざまな区分が個々の原稿にはあるが、全体を連載として区分する。
- インタビュー 作曲家、音楽家へのインタビュー。
- 書評 読者へ紹介したい単行本の感想、評論など。
- 報告 自身のあるいは研究室の活動報告など。
- 作品解説 自作品の哲学、用いているシステム紹介、音楽理論などを作品の中で特筆すべき内容を解説する。プログラムノートを発展させ、より学術的にしたもの。

このほかのカテゴリも必要に応じ、作成したいと考えています。上記に当てはまらないものは編集委員にご相談下さい。

■研究会の参加費について

非会員の場合は研究会参加が有料となりました。参加費500円を徴収いたします。

■研究会への発表募集

研究会の講演発表を募集します。詳細は別途ご案内いたします。内容は電子ジャーナルの原稿のカテゴリと同等なものです。また、それ以外の話題がありましたら、運営委員までご相談ください。

■第13回研究会

日時：2012年9月29日(土) 13:00 - 17:00

会場：埼玉県立近代美術館 講堂

プログラム

○1件目

講演タイトル：ミュージックコンクレートの制作ワークショップへの参加による感覚の変化

発表者：柴山 拓郎 (東京電機大)

○2件目

講演タイトル：ローラン・マルタン「一所懸命」の作曲課程

発表者：塩野 衛子 (パリ第4大学)

○3件目

講演タイトル：母子間コミュニケーションによる音楽情動の発達

発表者：星-柴 玲子 (東京大)

○4件目

パネルディスカッション：考えられないことを考えられるようになること (1)～逸脱する芸術表現

柴山 拓郎 (東京電機大), 伊藤 俊治 (東京芸大),

古川 聖 (東京芸大), 沼野雄司 (桐朋学園大),

松村誠一郎 (東京工大), 高橋 博夫 (SMF 運営委員)

編集後記

13回目の研究会となります。今回はさいたまミュージックフォーラム 寺子屋 vol.1 との共催となり、埼玉県立近代美術館にて「逸脱する芸術表現」をテーマに開催されます。音楽のみならず近現代の芸術全般を考える時に、逸脱性というテーマは非常に重要になることは皆様ご存知の通りかと思いますが、今回はパネルディスカッションとして作曲家のみならず他の分野のアーティストを交え徹底討論される予定です。ぜひお越しください。

(会報編集担当:安藤)